

海南消告示第32号

平成30年度上半期海部南部消防組合財政状況の公表について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第1項及び海部南部消防組合財政状況の公表に関する条例（昭和48年海部南部消防組合条例第18号）の規定に基づき、平成29年度決算及び平成30年4月1日から平成30年9月30日までの期間における海部南部消防組合の財政状況を別紙のとおり公表する。

平成30年11月26日

海 部 南 部 消 防 組 合

管 理 者 久 野 時 男

## まえがき

海部南部消防組合の財政状況につきましては、1年を2期に分けて公表していますが、今回は平成29年度の決算の概要及び平成30年度上半期における予算の執行状況について申し述べ、管内住民の皆様には海部南部消防組合の財政状況について御理解いただくとともに、今後の組合運営に積極的な御協力をお願いします。

### 1 平成29年度決算の状況について

一般会計においては、歳入決算額が1,040,470,959円、歳出決算額が959,396,239円となり、歳入歳出差引額及び実質収支額は、81,074,720円となりました。

また、消防指令センター特別会計においては、歳入決算額が82,763,381円、歳出決算額が82,763,379円となり、歳入歳出差引額及び実質収支額は、2円となりました。

#### (1) 一般会計の決算の状況

##### <歳入>

科 目	予算現額 (円)	収入済額 (円)	収入率 (%)
1 分担金及び負担金	921,000,000	921,000,000	100.0
2 使用料及び手数料	18,707,000	25,475,922	136.2
3 国庫支出金	2,000	0	0.0
4 県支出金	1,000	0	0.0
5 財産収入	231,000	209,712	90.8
6 寄附金	1,000	0	0.0
7 繰入金	406,000	405,000	99.8
8 繰越金	83,242,000	83,242,082	100.0
9 諸収入	10,235,000	10,138,243	99.1
歳入合計	1,033,825,000	1,040,470,959	100.6

##### <歳出>

科 目	予算現額 (円)	支出済額 (円)	執行率 (%)
1 議会費	720,000	390,158	54.2
2 総務費	170,593,000	155,370,993	91.1
3 消防費	860,012,000	803,635,088	93.4
4 予備費	2,500,000	0	0.0
歳出合計	1,033,825,000	959,396,239	92.8

(2) 一般会計の住民負担の状況

科 目	支出済額 (円)	住民1人当たりの経費 (円)
1 議会費	390,158	8
2 総務費	155,370,993	3,175
3 消防費	803,635,088	16,422
4 予備費	0	0
歳出合計	959,396,239	19,605

備考 住民基本台帳に基づく平成29年4月1日現在における人口48,937人

(3) 消防指令センター特別会計の決算の状況

<歳入>

科 目	予算現額 (円)	収入済額 (円)	収入率 (%)
1 分担金及び負担金	75,563,000	66,828,133	88.4
2 国庫支出金	1,000	0	0.0
3 繰入金	18,789,000	15,934,047	84.8
4 繰越金	1,000	2	0.2
5 諸収入	2,000	1,199	60.0
歳入合計	94,356,000	82,763,381	87.7

<歳出>

科 目	予算現額 (円)	支出済額 (円)	執行率 (%)
1 消防指令センター費	89,340,000	82,763,379	92.6
2 諸支出金	16,000	0	0.0
3 予備費	5,000,000	0	0.0
歳出合計	94,356,000	82,763,379	87.7

(4) 財政構造

ア 一般会計

歳入においては、構成市村である弥富市と飛島村からの負担金が921,000,000円で、歳入総額に占める割合は88.5パーセントとなっています。

歳出においては、消防費が803,635,088円で、歳出総額に占める割合は83.8パーセント、総務費が155,370,993円で、歳出総額に占める割合は16.2パーセントとなっています。

歳出を性質から見ると、人件費、扶助費といった義務的経費が792,952,053円で歳出総額に占める割合は82.7パーセントとなっています。

イ 特別会計

特別会計は、消防指令センターの円滑な運営とその経理の適正を図るために設置したもので、歳入においては、津島市、愛西市、蟹江町及び海部東部消防組合からの負担金が66,828,133円で、歳入総額に占める割合は80.7パーセント、当組合の一般会計からの繰入金が15,934,047円で、歳入総額に占める割合は19.3パーセントとなっています。

歳出の主なものは、消防通信指令設備保守点検整備業務委託料が43,249,140円、消防救急デジタル無線システム保守管理業務委託料が18,344,399円で、これらの委託事業の歳出総額に占める割合は74.4パーセントとなっています。

## 2 平成30年度上半期財政状況（平成30年9月30日現在）

### (1) 一般会計の歳入及び歳出の状況

#### <歳入>

科 目	予算現額 (円)	収入済額 (円)	収入率 (%)
1 分担金及び負担金	941,000,000	623,647,750	66.3
2 使用料及び手数料	20,354,000	12,105,212	59.5
3 国庫支出金	2,000	0	0.0
4 県支出金	1,000	0	0.0
5 財産収入	235,000	7,020	3.0
6 寄附金	1,000	0	0.0
7 繰入金	406,000	0	0.0
8 繰越金	81,074,000	81,074,720	100.0
9 諸収入	9,965,000	4,972,045	49.9
歳入合計	1,053,038,000	721,806,747	68.5

#### <歳出>

科 目	予算現額 (円)	支出済額 (円)	執行率 (%)
1 議会費	457,000	0	0
2 総務費	145,205,000	44,794,286	30.8
3 消防費	904,876,000	398,764,692	44.1
4 予備費	2,500,000	0	0
歳出合計	1,053,038,000	443,558,978	42.1

## (2) 一般会計の住民負担の状況

科 目	予算現額 (円)	住民 1 人当たりの経費 (円)
1 議会費	457,000	9
2 総務費	145,205,000	2,984
3 消防費	904,876,000	18,596
4 予備費	2,500,000	51
歳 出 合 計	1,053,038,000	21,641

備考 住民基本台帳に基づく平成 30 年 4 月 1 日現在における人口 48,659 人

注 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない。

## (3) 消防指令センター特別会計の歳入及び歳出の状況

## 〈歳入〉

科 目	予算現額 (円)	収入済額 (円)	収入率 (%)
1 分担金及び負担金	198,329,000	16,377,000	8.3
2 国庫支出金	1,000	0	0.0
3 繰入金	49,089,000	2,922,000	6.0
4 繰越金	1,000	2	0.2
5 諸収入	2,000	1,484	74.2
歳 入 合 計	247,422,000	19,300,486	7.8

## 〈歳出〉

科 目	予算現額 (円)	支出済額 (円)	執行率 (%)
1 消防指令センター費	242,405,000	10,383,276	4.3
2 諸支出金	17,000	0	0.0
3 予備費	5,000,000	0	0.0
歳 出 合 計	247,422,000	10,383,276	4.2

## (4) 財産並びに地方債及び一時借入金の現在高 (平成 30 年 9 月 30 日現在)

## ア 財産現在高

区 分		平成 30 年 9 月末現在高
土地	本 署	13,734.79 m <sup>2</sup>
	分 署	5,055.00 m <sup>2</sup>
建物	本 署	2,072.57 m <sup>2</sup> (486.29 m <sup>2</sup> )
	分 署	753.82 m <sup>2</sup>
	出張所	224.68 m <sup>2</sup>
	消防自動車	15 台
	救急自動車	4 台

車両・ 設備等	津波・大規模風水害対策車及び積載資機材	1 式
	水陸両用バギー	1 台
	その他の車両	6 台 (1 台)
	原動機付自転車	6 台
	舟 艇	6 艇
	小型動力ポンプ	3 台
	フロートジェットポンプ	1 台
	空気拡張式テント	1 式
	動力油圧救助器具	2 式
	電動油圧救助器具	1 式
	高度救助用資機材	1 式
	署内ネットワーク設備	1 組
	総合通信ネットワーク設備	1 組
	高機能消防通信指令設備	1 式 (1 式)
	光ネットワーク設備	1 式 (1 式)
消防救急デジタル無線設備	1 式 (1 式)	
基金	財政調整基金	233,769,978 円

備考1 建物の項中（ ）内は、別棟の訓練塔、倉庫、車庫の面積である。

2 建物の項中 出張所は、224.68㎡の他に飛島村から200㎡(飛島村消防団車庫)を借用し、延べ面積424.68㎡である。また、出張所土地については、飛島村からの借用(500㎡)である。

3 車両・設備等の項中（ ）内は、海部地方消防通信指令事務協議会関係の財産の内書きである。

イ 地方債現在高 該当なし

ウ 一時借入金現在高 該当なし

## むすび

国は、積極的な経済対策等により、日本経済は大きく改善しており、成長から分配への経済の好循環は着実に回りつつあると分析しており、人づくり改革及び生産性革命を実現・拡大し、潜在成長率の引き上げを進めるとともに、成長と分配の経済の好循環を目指すとしています。

当組合の歳入は、ほとんどが構成市村からの負担金であります。歳出は、義務的経費である人件費、扶助費等が歳出総額に占める割合で82.7%と大きなものとなっています。財政事情は決して楽観視できないことを認識し、行政改革に取り組み、様々なアイデアを生かした自主財源の確保、緊急性の適切な判断による

歳出の見直しなど、限られた財源のもと、将来に向けてより一層健全な財政運営に取り組んでいきたいと思えます。

また近年、日本各地で大雨や台風による浸水、河川の氾濫、土砂災害などの自然災害が多数発生しており、多種多様化する災害、大規模化する災害に対しても、職員一丸となって住民の皆さまの期待に応えるとともに、当組合財政への深い御理解と財政運営へのより一層の御理解と御協力をお願いします。